

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年7月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670105313
法人名	社会福祉法人 吉田向陽会
事業所名	グループホームむれが岡風車の宿
所在地	鹿児島市牟礼岡1丁目3番7号 (電話) 099-294-7007
自己評価作成日	令和3年6月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○運営推進委員のメンバーがすべて校区社共の理事であることから地域密着が充分に図られている。
 ○法人の母体が保育園であることから、小児との交流が随時図られ、チャイルドセラピーの効果が出ている。
 ○介護スタッフのほとんどが地域在住であるので利用者と馴染みの関係ができています。
 ○ホームは、市外からみて、小高い丘にあり、背後にある、風力発電所の風車が見られ環境の良い場所にあり、それから「風車の宿」の名前が付けられた。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和3年6月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、牟礼岡団地の一角にあり近隣には小学校や法人経営の保育園、児童クラブ、地域コミュニティがあり、地域住民のサロンや学習の場として広く活用されており、事業所自体が地域に溶け込み、関係性を深めている。また、職員の中には保育園に子どもを預けて勤務する人もおられ、子育てしながら仕事と家庭を両立できるよう勤務調整したり公休が取りやすいよう配慮しながら職場環境や勤務条件を整えていて、最近、若い世代の職員も増えている。管理者が交代したばかりではあるが職員との関係性は良好で、業務相談を受けたり内外研修を設けスキルアップを図り情報共有しサービスの質の向上が図れるよう取り組んでいる。

理念は、共有スペースや事務所に掲示され始業時、職員一人ひとりが個々に音読し意識向上を図っているが、管理者は、職員の意見を聴取し見直しを検討している。介護理念、運営理念、ケアポリシーなどを職員間で周知徹底し、利用者の尊厳や人格の尊重に留意している。

季節の野菜や菓子などを差し入れして下さる家族や地域の方がおられ献立などに取り入れている。職員は、食事形態を嚥下機能を考慮し、美味しく食事が摂れるよう工夫し、自力摂取されたり職員が食事介助し食事を楽しんでいる。管理者が献立を作り、定期的に保育園に在籍する栄養士に栄養指導を受けたり、利用者の嗜好を職員間で話し合い食の楽しみが持てるよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「ごく普通の生活をその人らしく乳幼児や地域の方に囲まれて穏やかに過ごせる暮らしを実行します」の理念を目の触れやすい場所に掲示し、唱和し共有し確認している。	介護理念は、開設当初からのもので認知症高齢者はもとより、乳幼児などの幼児教育の発展に寄与し、地域コミュニティに参画することを指針としている。職員は、毎日勤務開始前に理念を音読し意識向上を図り理念を共有しケア実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域の行事、自治会、保育園、小学校との交流を行っている。コロナ禍で散歩や外出等積極的に出かけられないが、近所の方が野菜や手作りのお菓子持って下さる。	自治会に加入し、総会や回覧版からの情報収集、地域住民、保育園、小学校などとの日常的に交流活動している。また団地住宅の一角に位置するホームは、周辺に溶け込み近所の方からの差し入れなどもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域行事等や入居者様と一緒に参加している。季節ごとの飾りつけの作品作りを一緒に楽しんでいる地域の運動会、敬老会に参加している。。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進のメンバーは全員校区の社協、公民管長、民生委員であり、利用者の生活状態、環境は周知されている。ケアのサービス向上の良いアドバイスになっている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議開催は中止され書面にて情報を共有し利用者家族には、家族会で報告しホーム便りにも重要な点を記載している。現在、法人関連の小規模多機能ホームとの合同会議であるが、管理者は、開催方法について今後検討したいと考えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>行政職員とは、運営推進会議や介護保険証更新等の書類の提出相談事がある時に訪問助言を受けている。年1回介護相談員の受け入れも毎年行っている。</p>	<p>市担当者とは、吉野又は吉田支所に出向いて担当者と面談したり、電話やメール、ファックスなどで連絡や連携を図り相互に協力関係築いている。介護相談員を受け入れ意見を参考にして介護サービスの向上を図りまた、ケア会議にも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>「身体拘束改善計画規定」がり委員会を中心として毎月の職員会議にて行っている。行動制限のないように日頃から、見守り、安全確保している。</p>	<p>職員は、毎月職員会議の中で身体拘束の弊害などについて話し合い、定期的な研修会を実施、知識の研鑽や技術の習得に努めるとともに、運営理念やケアポリシーを共有し、日々、身体拘束をしないケアの実現に向けて取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を開催して、馴れ合い状態での無理な言葉などの静止にならないように、スタッフ間でお互いに注意している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている利用者はおられない。職員会議の際に研修をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、重要事項を説明し了承を得て契約している。また、制度改正がある場合は等は再度説明し同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご意見箱を設置している。日頃からご家族には入居者の状況を報告は密にし、ご意見や要望を伺うように努めている。毎月ホーム便り、健康チェック表、その月の様子を文面にして送付している。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染状況を把握し、感染対策を十分に行い玄関で家族と面談をおこない利用者支援状況などについて説明、利用者には短時間家族などと面会をしてもらっているが、意見・要望など出された提案は、職員会議などで話し合い運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の職員会議で積極的に意見を求めると共に、日頃から連絡ノートや口頭での報告、連絡、相談を密にするように努めている。代表者、管理者は必ず出席している。</p>	<p>スタッフ会議は、経営者も参加し職員の意見や要望を聞く機会を設けている。法人の保育園児保護者の採用など法人の協力体制があり勤務体系や条件を整備している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>就業規則は整備されている。管理者は法人全体の会議に参加し、情報の共有、向上心を持って働くことができるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修に参加した者は、研修報告を職員会議の場で行い他のスタッフに伝達して内部研修を充実させ、スキルアップを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>吉田地区介護保険事業所の連絡会やケアマネの交流会に参加し、地域の情報交換や勉強会に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	病院、施設、居宅のケアマネからの情報だけでなく、契約前に、ご本人や家族に訪問して頂き、情報収集すると共に、希望要望を聴衆し、環境変化が少ないように、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前に訪問、来館頂き、ご家族様の要望等を聴き、不安の解消を務めると共に、信頼関係が作れるように努めている。入居後は、訪問時に家族に個々の状態を報告し意見交換をするようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前訪問の際の情報を基に現時点でのご本人のベストな環境で生活できるように他のサービスを含め、情報提供するなど、共に考えるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は常に生活を意識し、共に生活させて頂いている。また職員だけでなく入居者同士も支え合っている。介護する側、される側という意識を持たず、お互い協働し生活している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会の機会（利用料の支払い時、病院受診時等）家族間が途切れないように取り組んでいる。ご家族と意見交換、情報の共有、同じ思いで支えていけるように取り組んでいる。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今迄の生活歴の把握、自宅への外出・外泊・馴染みの美容室の活用、知人、友人の面会等ご家族の協力を頂いている。個々の生活習慣を尊重し、継続的に交流が持てるように取り組んでいる。	手紙や葉書などの代読や電話の取次ぎをおこなったり、携帯電話で家族などと連絡を取ることができるよう支援し、家族や馴染みの方との関係が継続できるよう支援している。地域行事を通じて持久走大会の応援、美容院への外出、訪問美容員との馴染みの関係支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は見守りの中、入居者同士の関係性、性格などを把握し、トラブル等には十分に配慮し生活を共にする。入居者同士が自然な形で支え合い生活できる事に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も相談して頂けるよう取り組んでいる。退去後の状態に合わせ、どのようなサービスが必要か共に考え支援している。電話による様子伺い、施設面会、病院へのお見舞いなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前や生活の中で、希望等把握し実現できるように努めている。また、職員会議で検討していく中でご本人の立場に立つように心がけている。	日々生活の中、本人の思いに触れ気持ちを推し量るよう取り組んでいる。職員会議でケース検討などをおこない本人の思いや意向を共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	個々の生活歴を把握し、また、これまでのサービス状況等は、ご家族を含め、関係者から情報収集するようにしている。何気ない会話から情報収集し、職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に、身体状況や認知症等の把握に努め、小さな動きからも感じ取り本人の全体像を把握し職員全員で情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月もしくは6か月ごとにモニタリングの実施、状態を見ながら変化が見られたらその都度見直しして作り直している。本人にとって何が必要なのか職員の意見を計画に取り入れている。	課題を抽出し、本人の得意なことや好きなことを反映した介護計画書になっており、自立を促進するため家族の支援などのインフォーマルサービスを位置付けている。また、定期的な評価や必要時計画の見直しをおこない家族には、郵送し、電話で説明し同意を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の身体状況や認知症の状況等の把握し情報の共有。本人の言動やそれに対しても職員の対応を個別に記録。朝夕の申し送り活用してカンファレンスやプランに役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナ禍により月に1回程度の行事の実施や外出、また個別の要望にできる限り応じて支援できていたがその取り組みができていない。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加など、積極的に取り入れて閉ざされた空間での生活にならないようにしている。(夏祭り、運動会)に参加して幼児と触れ合いを楽しんでいる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にはご家族に依頼している。受診の際には、主治医に情報提供し連携を図っている。ご家族が県外の方や事情のある方は職員が代行している。毎月2回訪問診療を定期的を受けている。	協力医療機関からの紹介が多く、認知症や精神疾患を患う利用者が大半を占めるため、訪問看護との協力が有り家族の理解を得ながら適切な医療を受けられるよう支援している。他科受診は、家族の協力を得ているが、職員の協力体制がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週2回訪問看護をうけ、利用者の健康状態を報告し健康管理及び通常ではできない医療行為に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時には情報提供を行い、医療機関と情報を共有している。入院中、職員、管理者が訪問し、退院を含め、今後の方向性について話し合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人にとって一番良い方法をご家族と相談、重度化することでホームの生活が困難である場合は月2回訪問診療を受けている医療協力病院と連携をとる。他の施設を紹介か入院するか本人の状態に応じて対応する。	重度化対応に関する指針や看取り指針があり、契約時文書にて説明している。食事介助や入浴、排泄、移動などが困難で重度化している方の支援については、主治医や家族、関係機関の意見を聴取し、本人や家族の納得のいく最期が迎えられるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルがり急変時にも速やかに対応できるように備えている。救急蘇生法の研修にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の防災訓練と消防署員指導の下利用者、職員で行っている。日中、夜間訓練、119番通報と緊急連絡先に同時通報できる設備が整っている。消化器、消火栓の訓練等を行っている。</p>	<p>昼夜想定 of 災害訓練、年2回自主訓練、定期研修を実施している。AEDは隣接の保育園に設置されており、救命講習訓練にも毎年参加している。防災グッズを備え、食料品、飲料水、介護用品などの備蓄をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎月の職員会議にて、言葉使いや声掛け、プライバシーに充分配慮しているか職員会議で話し合いする。自己決定を大切にさりげないケアができています。	プライバシー保護に配慮したケアに努めるよう職員会議などで共通認識を図るよう取り組んでいる。一人ひとりの尊厳や誇りを大切にし、利用者の自己決定が図れるよう努め、本人らしい生活の実現を目指している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の見守りの中、安易に答えを提供することはせず利用者が答えが出せるように声掛けしている。自らの思いを出せるような雰囲気作りを心がけ支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のそれぞれの時間を大切にし穏やかな生活の実現のため取り組んでいる。業務優先にならないように注意している。本人の気持ちを尊重し個別性の支援を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その日に身に付ける衣服を一緒に選んだり、希望により美容室より出張散髪に来てもらっている。パーマ、髪染めの場合は美容院へお連れしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節や利用者の好みを聞き、栄養バランスを考え献立している。野菜の下ごしらえ、味見などしてもらい食事の楽しみの工夫をしている。外食、弁当持参の花見、ソーメン流しに抱かしている。	調理担当専門職と担当職員が交代で役割分担している。能力に応じた食事準備への参加があり、食事介助される方や食事形態を工夫して摂られる方などがある。家族や地域からの差し入れも多く季節や行事食を楽しむ食の自立を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量については、毎食後にチェック、不足分には補足している。水分補給は食事中と10時、15時入浴後に行っている。麦茶、ミネラルウォーターを常備してしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア時、個々の能力を把握し必要に応じ援助し自立の方を含め、口腔内の状況観察をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	「健康チェック表」を用いて一人一人の排泄パターンを把握して、できる限りトイレでの排泄ができるように支援している。	以前は、鈴などを活用していたが、現在は、本人の排泄のリズムなどを把握し昼夜、トイレで排泄ができるようケアしている。おむつへの排泄の方がおられるが、なるべく汚染の状況が続かないよう小まめにおむつ交換し清潔保持に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食事の中に食物繊維を含む食事を取り入れ、水分を多く取って頂ける機会を作り、通常的生活に便秘予防を取り入れている。状態によっては、主治医の指示により下剤の服用。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	最低2～3回、希望を聞きながら、入浴、清拭、足浴支援をしている。自立している利用者は見守りで、重度の利用者は二人介助している。	一人で浴槽に入る方がおられたり、重度化し職員が二人介助で入浴介助する方もいる。大抵午前中に入浴支援が行われ、足浴を同時におこなう。本人の好みのシャンプーなど愛着がある入浴剤を使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠ができるように、散歩や体操など、日中の活動を促し生活リズムの確保に努めている。室内の温度調節、寝具の清潔保持に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬事ファイルに情報を整理し、いつでも確認できるようにしている。服薬時には3回確認して誤薬のないように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴を把握し、できる事、できない事を把握し自ら行えるよう支援している。季節の行事を作品にしたり得意分野で能力発揮し楽しみを見出す支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	例年は、利用者の要望に応じて、近隣への散歩や買い物へ出かける機会を作ったり、地域の行事参加、家族との外出等計画に組み入れていたがコロナ禍に手テイクアウトの食事を月1回の支援しかできていない。	これまでは、天候を見ながら近隣を散歩したり、外出を計画的に実施していたが、現在は、感染防止のため中止している。外食も厳しいため利用者に希望を伺いテイクアウトを利用し、食事を楽しんでいる。職員は、レクリエーションや季節の行事などを創意工夫し季節感が味わえるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご利用者からの要望やに沿って、買い物の際には必要な金額をその時に渡すようにしている。必要に応じて使えるように一定額はホームにて預かっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者からの希望に合わせて本人が電話したり、ご家族からの電話を受けご本人に取り次いでいる。手紙がいつでも出せるように切手の用意、投函にも職員同行している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な雰囲気の中で、自然な音や光を取り入れ、心地よく過ごせるように、居間や廊下に掲示を行い、また隣接する保育園からは園児の元気な声が聞こえ、居心地よく過ごせる空間作りに努めている。</p>	<p>建物は、一般的な住宅をリフォームしてバリアフリー化しているが老朽化している。1階部分にユニットがあり、食堂に面して居室が配置され採光があり、庭やプランターの花々が眺められ家庭的な雰囲気である。また、浴室は、洗い場が狭く浴槽は深いため手すりが設置されている。和室があり、家族の面談や来訪者の方の面会や話し合いに活用されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居間のソファでゆっくり過ごされている方気の合う利用者同士でトランプして楽しまれている方、自室でベッドで横になっている方、懐メロを口ずさんで、にこやかに笑っている方など共用されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本にとって安心した居心地よい居室となる様、馴染みの物や写真、テーブルなど、配置、行動スペースを確保し安全に生活できるように工夫している。</p>	<p>エアコンやベッド、タンスなどが常設しており、本人の身体機能や好みを反映し、生活しやすいよう工夫している。壁には、利用者の作品や家族写真などが掲示されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の安全を考慮、自立支援を目的とし、廊下やトイレ内、脱衣所、浴室の手すりやグリップの安定など、必要に応じて居室内の手すりやベッドの介助カバーの設置など用意している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない